



連載

みんなで盛り上げよう！ オリンピック・ムーブメント

パラリンピック・ムーブメント事例紹介



一般社団法人 いわしろふれあいスポーツクラブ ＜福島県二本松市＞



オリンピック・ムーブメントとは、オリンピックの精神（オリンピズム）に従って、スポーツを通じて平和でよりよい世界の実現を目指す活動のことです。2020年に向けて国内でもさまざまな活動が行われています。

今回は、一般社団法人いわしろふれあいスポーツクラブが実施しているパラリンピック・ムーブメント関連の取り組みを紹介します。

障がい者スポーツ体験教室

実施日時	平成29年11月2日(木)、15日(水)、29日(水)、12月5日(火)
実施会場	二本松市立小浜小学校の体育館・視聴覚室
参加者数	11/2(木) 5年生37人、6年生25人 11/15(水) 4年生32人、3年生32人 11/29(水) 5年生36人、6年生25人 12/5(火) 1年生29人、2年生20人
主催	うつくしま広域スポーツセンター(現 ふくしま広域スポーツセンター)
主管	(一社)いわしろふれあいスポーツクラブ
協力	福島県障がい者スポーツ協会、福島県障がい者スポーツ指導者協議会 二本松市立小浜小学校



1 企画経緯

障がい者のスポーツ環境整備の受け皿として連携事業を開始

うつくしま広域スポーツセンターより、地域の障がい者スポーツの機会や場の提供に関する連携事業のお話をいただきました。当クラブが、地域の障がい者のスポーツ環境の受け皿になることができるのではないかと、受け皿にならなくてはいけないのではないかと考えていた時期に、お話をいただいたこともあり、連携事業をお受けすることにしました。

「障がい者スポーツを地域で...、何をどう進めればよいのか...。」まずは、うつくしま広域スポーツセンター、福島県障がい者スポーツ協会、当クラブによる三者ミーティングを開催していただきました。ミーティングを進める中で、福島県障がい者スポーツ協会側から、同協会ではなかなかカバーできていないのが、小学校の支援学級の子ども達であるという話が出ました。「例えば、体育科の授業の支援に入らせてもらい、支援学級の子ども達を支援することはどうか」という声も上がりました。

支援学級だけでなく全校生徒が障がい者スポーツを体験

二本松市生涯学習課に事業を説明し、課長のご協力を得た上で、二本松市立小浜小学校にご相談に行きました。校長先生の最初の答えは『NO』でした。学校教育の現場で、特定の子どものみを対象にはできないという、ごもっともな理由でした。

しかし、「せっかくの機会ですし、方法を探りましょう」という校長先生から温かいお言葉をいただきました。話し合いを進める中で、リオパラリンピックで障がい者スポーツ種目のボッチャ日本チームがメダルを獲得したことが話題になり、そこから話しがどんどん進みました。

「障がい者スポーツの数種目を全校生に体験させてあげられないだろうか」

「障がいがあっても無くても、一緒にスポーツを楽しむことができるという体験をさせてあげたい」

「この先、子ども達が成長していく過程で、もし障がいがある方と出会った時に、自然に言葉を掛けたり、手を差し伸べられる人になって欲しい。そんな心を育ててあげたい」

校長先生からは、上記のような提言が出たほか、「心を育てる勉強にもなりますが、体育科の授業の時間でもあるので、ある程度の運動量は欲しい」とのご意見もありました。

2

実施内容

11/2(木) 2校時...5年生『シッティングバレー』

3校時...6年生『シッティングバレー』

11/15(水) 2校時...4年生『講義』福島県障がい者スポーツ協会 増子恵美氏

〃

丸山内雄大氏

※パラリンピック公式教材を使用した講義

3校時...4年生『ボッチャ、ゴロバレー(シッティングバレー)』

4校時...3年生『ゴロバレー(シッティングバレー)』

11/29(水) 2校時...5年生『ボッチャ』

3校時...6年生『ボッチャ』

12/5(火) 2校時...1年生『風船バレー(シッティングバレー)』

3校時...2年生『風船バレー(シッティングバレー)』

シッティングバレーやボッチャは、各学年の運動適応能力に合わせて、ボールを変えたりルールを少し優しくしたり、楽しく運動できるように工夫しました。ウォーミングアップは、座ったままの鬼ごっこをして楽しく運動できました。

【実技指導の講師】

福島県障がい者スポーツ協会

増子恵美さん

〃

丸山内雄大さん

福島県障がい者スポーツ指導者協議会

伊達孝浩さん、眞田博史さん

〃

遠藤宣夫さん、黒澤淳子さん

シッティングバレーアスリート

佐藤浩さん、鈴木敦さん

いわしろふれあいスポーツクラブ

藤野美緒 クラブマネジャー

〃

藤代純子 アシスタントマネジャー

・増子恵美さん

パラリンピアンで、車椅子バスケットボールで活躍されました。

シドニーパラリンピックで獲得した銅メダルを子ども達に見せてくれました。

・シッティングバレーアスリートの佐藤さんと鈴木さん

お二人とも車椅子。低学年の女子から「どうして足を無くしてしまったんですか？」という質問に、「事故で足を無くしてしまった。最初の頃は辛かったけど、パラスポーツに出会ったおかげで楽しくスポーツができるし、仲間もたくさんいる」と教えてくれました。

3

参加者・運営側の声

参加者の声

- とても楽しかったです。またやりたいです。
- 座ったままの鬼ごっこ、疲れたけど楽しかったです。
- シットティングバレーは少し難しかったです。
- 増子さんの銅メダルを触れて嬉しかったです。
- 佐藤さんや鈴木さんが打つボールが早くてびっくりしました。
- また子ども達にボッチャをやらせたいです。(担任の先生)

運営者の声

- 障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者協議会との連携により、各回8名(クラブマネジャー含む)の指導者がいたので、グループ分けをして活動できたことが良かったと思う。
- 銅メダルを見て触れた時の、子ども達の『輝く瞳と笑顔』が最高でした。
- 運動量もあり、楽しみながら障がい者スポーツを体験させてあげられたので良かった。
- 障がいのある佐藤さん、鈴木さんと一緒に体験でき、お話も聞くことができたので子ども達の心に残る時間を提供できたと思う。

※藤野クラブマネジャーと藤代アシスタントマネジャーは、障がい者スポーツ初級指導者講習会を受講し資格を取得し、体験教室に臨みました。同資格と今回の経験を基に「今後の障がい者スポーツの活動に生かしたい」と語っています。

4

今後の展望

- 地域の障がい者の方がスポーツを楽しめる環境をつくっていききたい。
- 小学生に限らず、地域住民に対しても、障がい者スポーツを体験できる機会を増やしたい。
- 今後も障がい者スポーツ協会、障がい者スポーツ指導者連絡協議会との連携を図りながら、様々な事業を展開していきたい。当クラブとしても、各団体に協力していきたい。

(いわしろふれあいスポーツクラブ クラブマネジャー 藤野 美緒)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成14年5月16日

所 在 地 福島県二本松市小浜字芳池1番地

特 徴 「心豊かな人づくり、笑顔あふれる地域づくり」を目指して活動しています。
・地域住民が余暇時間を有意義に過ごすことで、心の豊かさと気持ちにゆとりがある。
・地域の誰もが気軽に楽しく参加し、気の合う仲間、同じ趣味を持つ仲間とクラブライフを楽しんでいる。
・会員自らがクラブを育て、会員自らが笑顔で活動し続けている。

連絡先 〒964-0313 福島県二本松市小浜字芳池1番地(岩代公民館内)
TEL 0243-55-2260 FAX 0243-55-2070
E-Mail iws.shogaigakushu@city.nihonmatsu.lg.jp



4年生の授業で、パラリンピック公式教材I'm possibleを使用した講義。
講師は、福島県障がい者スポーツ協会の増子恵美さん。



シッティングバレーを体験。
学年によってボールを変えたり、ルールを優しくしたりして試合を体験。



ボッチャを体験。チーム戦で試合を体験。
接戦を繰り広げていました。



3・4年生はシッティングゴロバレーを体験。
担任の先生も一緒にプレー。